



只見町ネイチャーポジティブ宣言

「ブナと生きるまち 雪と暮らすまち」を理念に、この地に受け継がれてきた自然・歴史・文化・暮らし・産業などの地域特性を活かした町づくりを進め、健全な自然環境を次世代に確実に引き継ぐために、2007年に「自然首都・只見」宣言を行ないました。

その宣言に基づく取組み等が評価され、2014年に自然と人が共生する国際モデル地域、「只見ユネスコエコパーク」に登録されました。

以降、只見地域の豊かな自然環境と野生生物を守りながら、この地で育まれた伝統的な生活文化を維持しながら継承する、豊かで持続可能な地域社会の発展を目指す取組みを推進しています。

現在、国際社会では、2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させ、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」を目指す国際目標が掲げられています。

只見町はその動きに参画し、ネイチャーポジティブの実現を目指すことを宣言します。

- 1 「自然首都・只見」宣言に基づき、只見町の豊かな自然の価値を認識し、その恵みを次世代に確実に引き継ぎます。
- 2 人と自然の共生を科学的根拠に基づき実現するために、学術研究やモニタリング、教育や人材育成を推進します。
- 3 自然の恵みを持続可能な形で活かし、社会課題の解決に取り組むため、豊かな山林資源や水資源の活用など再生可能エネルギーの構築に努めます。
- 4 地域資源の活用と自然環境・生物多様性の保護・保全の取組みが一体となったネイチャーポジティブ経済を推進するため、自然資源を活用した生産物の生産や開発、エコツーリズム・グリーンツーリズムを推進します。
- 5 他地域間や企業・団体との連携を促進し、只見町だけでは対処できない課題を解決するため、多種多様な自然生態系を拠り所とした伝統的な生活文化を継承・発展させ、人間と自然とのつながりを大切にする価値観や行動を育む取組みを推進します。

2024年11月4日

只見町長

渡部 勇夫